

山本泰徳理事長の留任を内定 広島県鉄構工業会 第5回理事会を開く

案を協議し、山本理事長の留任を内定した。山本理事長は次期で5期目、5月30日の通常総会で正式に承認される予定だ。

広島県鉄構工業会（理事長 山本泰徳・ステントス社長）は3月18日、広島市東区の広島テレビホールで第5回理事会を開催、2022年度の役員改選



中島理事相談役（左端）の長年の貢献に謝辞を述べる山本理事長（右端）

理事会ではこれまで推進してきた①公共工事の設計見積もり有料化②青年部組織の改革③共済事業拡大に

による収入増加④行政機関や構造設計者、学術関係機関など関連団体との交流・共同事業⑤青年部主体による動画サイトの活用——

などの事業を振り返り、成果を検証・評価した。今後の事業では高炉メーカーとのコラボ動画の作成計画案について協議した。山本理事長は「今後2年間で各事業の改革をさらに推進し、総仕上げとしたい」との意向を示した。そのほか、21年度末で退任する中島秀晴理事相談役（三和鉄構建設会長）の長年の貢献

に対して山本理事長が謝辞を述べた。中島氏は理事を24年、14年から2期4年理事を務めた。